



## 全国建具岐阜大会を開催

第45回全国建具展示会表彰式が6月17日、飛騨・世界生活文化センターで開催された。

式典に先立ち、岐阜県指定無形文化財である飛騨東照宮の「おかも獅子舞」、福地温泉郷の無形文化財「へんべとり」の民俗芸能で来場者を歓迎。武藤儀一岐阜県建具工業協同組合専務理事の開会の

言葉に続き、業界の物故者及び東日本大震災の犠牲者に向けて黙祷を捧げた。主催者を代表して三島誠一岐阜大会実行委員長と上中節彦全国建具会長が挨拶。今回の展示会で建具業界の力を見せて、この難局を乗り切っていこうと、業界の勢力結集を呼びかけた。来賓祝辞では、経済産業省製造

産業局の鈴木正徳局長の祝辞を同省製造産業局住宅産業窯業建材課の小野正企画官が代読。岐阜は森林のある高地からゼロ海域まである県であり、木の国、山の国、それに海もある清流の国。多くの観光地と名産品に恵まれている。是非とも岐阜を楽しんでもらいたいと岐阜県の魅力を訴えた。

第48回技能五輪全国大会と第26回技能グランプリ優勝者を表彰。技能グランプリ第1位の上野誠氏が壇上で紹介された。



次いで第45回全国建具展示会入賞者表彰に移り、最高位の内閣総理大臣賞には愛知県の川口木工所の製作による「組子屏風」が選ばれた。製作者の川口博敬氏をはじめ、経済産業、国土交通、厚生労働、農林水産、文部科学の各大臣賞の受賞者、中央官庁及び岐阜県の自治体、関連団体の職長の名を冠した賞の受賞者が発表され、壇上で表彰された。大会スローガン「日本の技を匠の里より未来につなごう」の確認、大会宣言が棚橋宗治岐阜県建具工業協同組合副理事長より発表された。

【詳細は本誌6月号】